

くずまき町民まつり

第51回くずまき町民まつりは10月11日と12日の2日間、くずまくとモウモウ館を会場に開催され、町内外から延べ3500人が来場しました。

オープニングでは、びっくテラスに設置された特設ステージで葛巻保育園の園児たちが元気いっぱいいにダンスを披露。会場は笑顔と拍手に包まれました。セレモニーでは、鈴木重男町長が「完成したくずまくとびっくで開催できることをうれしく思う。町民まつりを通じて、まちの一步前進している姿を見てもらいたい」とあいさつしました。

くずまるとびっくでは、商工会や三セク、町内企業などが軒を連ねました。そのほか町青年連合協議会の縁日や葛巻高校生によるおどってマーケットも出店。明るい呼び込みの声や笑顔は、会場の活気をさらに引き立てました。

モウモウ館会場では、新米や季節の野菜など旬の農産物が並び、来場者は買った品を両手に持って、満足そうな表情を見せていました。「ひと・情報・機能が集まる場所」を目指す複合庁舎くずまるとびっくを主会場に初めて開催された町民まつりは、まさにその願いを具現化したようなにぎわいに満ちていました。



9



7



6



8

6自分たちが考案したくずまき鍋をステージ上でPRする葛巻高校生7ビーフシチュー風くずまき鍋を笑顔で配膳8ご当地グルメフェア特設会場は大にぎわい9くずまき鍋を囲む家族1011くずまき鍋を頬張る子どもたち



11



10



3



1



5



4



2

1元気いっぱいのダンスを披露する園児たち2くずまとの軒下と並ぶさまざまな店を巡る来場者3新鮮な野菜や果物を吟味する来場者4恒例の日用品のタイムサービスには行列が5モウモウ館会場にも葛巻高校生が出店し大活躍

くずまき鍋 & ご当地グルメフェア



くずまき鍋&ご当地グルメフェア 2025も同会場で開催され、町内6店舗のくずまき鍋と葛巻高校生が考案したくずまき鍋、全7種類が勢ぞろいしました。葛巻高校生は、くずまき食のアンバサダーで料理研究家の小野寺恵さんの指導を受け、試行錯誤を繰り返して完成した「ビーフシチュー風くずまき鍋」をお披露目。来場者の質問にもこやかに答え、鍋の魅力を紹介しました。

昼時、飲食スペースはお気に入りの一杯を味わう人や、複数の鍋をみながら取り分けて食べる家族連れなどで大いににぎわいました。ほかほかの鍋を頬張る人の表情はほころび、心も体も温まった様子でした。

また特設会場には久慈市、滝沢市、岩手町、普代村のご当地グルメも出店。子どもから大人まで、さまざまな食の魅力を楽しみながら会話を弾ませ、笑顔をお返ししていました。



14



13



12



16



15

12来場者でにぎわった「ふり〜じゅ」1314さまざまな測定機器を用いて運動機能などを測定15町食生活改善推進員協会による野菜摂取量測定16会場内では健康に関する相談も

笑顔と活気が集う

福祉と健康のつどい

くずまるとびっく内ふり〜じゅでは、第42回福祉と健康のつどいも同時開催されました。「自分のからだを知り健康になろう」をテーマに、さまざまな測定項目を巡るスタンプラリーを実施。自身の健康状態を再確認しようとする多くの来場者が訪れました。

測定機器を用いる毛細血管血流や運動機能などの測定では、数値化された結果を基に担当者が状態を丁寧に説明。来場者一人一人が自身の健康と向き合える時間になっていました。町食生活改善推進員協議会による野菜摂取量測定では、来場者に先着順でレシピ付きの野菜入り蒸しパンを贈呈。野菜摂取の実践を呼び掛けました。そのほか、心の健康や認知症、福祉用具などの紹介ブースもあり、来場者は心と体の健康や福祉、介護などについて理解を深めるとともに、自身の健康に目を向け、さらなる健康増進への意欲を高めた様子でした。